

益子町議会議長 星野 壽 男 様

## 議会活性化検討委員会からの【まとめ】報告

平成31年4月の統一地方選挙における益子町議会議員選挙は、定数ちょうどの立候補届出者数であったため、24年ぶりに届出者全員の無投票当選となりました。これを問題視する複数の町民から議員定数見直しの声が起こり、自治会長連絡協議会からは、議員定数見直しを求める要望書が議長あてに提出されました。これを受けて議長から、主として議員定数・報酬の見直しを議論するとともに、議会の活性化、なり手不足の解消など、よりよい益子町議会となるための方策をまとめるため、『議会活性化検討委員会』が設置されました。

まずは、議員間討議を活発化するための仕組みを考え、現在行われている流れを提案しました。委員会報告のまとめを委員全員で協議し意見を毎月提出。全体で協議した方がよいものは全員協議会で諮ってもらい、4半期ごとには再検証して絞り込む。さらに半年分から絞って意見書を提出。そして1年分の各委員会で上がった意見を踏まえて、議会として正式に翌年度予算に要求する項目をまとめて執行部に提出する。これによって議会は、より確実に町民の声を予算に盛り込める仕組みを獲得しようと提案し、現在試行錯誤ですが取り組んでいただいております。

本題である定数の議論に入る前に、栃木県内の各市町の議会事務局あてにアンケートをさせて頂きました。議会活性化について他に学べる事例はないか。益子町議会の活動状況が、県内の他市町の状況と比較して劣ってはいないか、その仕事量と報酬は見合っているのか。そして議員定数の昨今の変動状況はどうかなど、すべての市町にお答えいただき、それをもとに委員会で検討しました。さらに、議員の人口比率や報酬の総予算に対する比率など、比べられる指標をいくつかまとめて資料にしました。これらの資料を提示したうえで、自治会長連絡協議会の皆様との意見交換会を催し、活性化や定数等貴重なご意見を頂きました。広く町民の意見も頂戴したく、同様の資料を見られるようにして、町ホームページへのメールや役場玄関ホールに置いたご意見箱でのご意見募集も試みました。

いくつかの貴重なご意見を頂けて、おおむね定数に関しては方向性が見えてまいりました。報酬に関しては議員が直接決めることは出来ないのですが、当委員会で望ましい数字は出せませんが、頂いたご意見である程度の傾向は把握できました。議会の活性化に関してのご意見は条件や前提が一定でないためまとめることはできませんが、多くの可能性は感じました。これらを踏まえて、この委員会に付託された最も重要な課題“議員定数”に関しての結論とともに、当委員会からの【まとめ】を報告させていただきます。

## 議員定数について

**【まとめ】：議員定数を14名に変更することを提案いたします。**

栃木県内全市町の定数状況を調査すると、近年は定数を削減する傾向が明らかです。人口減少や社会情勢を考慮した結果と思われます。

また、町民からのアンケートや自治会長連絡協議会の皆様からのご意見をまとめてみても、定数削減へのご意見が多数でした。これらを踏まえ、議会運営に必要な定数を議論したうえで、定数2減の14名にする提案に至りました。

## 議員報酬について

**【まとめ】：現状維持を提案いたします。**

栃木県内全市町の議員報酬も調査しましたが、定数削減後に報酬を上げている自治体がいくつかありました。町民アンケートや自治会長連絡協議会の皆様からは、7割を超える割合で、報酬を上げるべきだとのご意見を頂きました。

しかし、町内の経済状況や町民の暮らしぶりを考慮すれば、現段階での報酬増は適当ではないと判断しました。近い将来に適当な時期が来ましたら、町の特別報酬等審議会に報酬増を諮って頂ければと考えます。

## 議会活性化について

**【まとめ】：新たな委員会で寄せられた多くの提案を具体化して頂きたい。**

今回町民の皆様から寄せられた多くのご意見や提案を、新たな議長諮問の委員会なりを作っていただいて、継続して議論し、具体化して頂く事を提案します。

## 今後についての要望

今回、具体的な数値としては、定数2削減を提案しておりますが、今後条例改正により定数が削減された場合でも、議会費の総額が減少しないように要望いたします。頂いたご意見・提案を具体的に活かして議会を活性化しようとするれば、新たな予算が必要になる事は必至です。議会事務局職員の増員・デジタル化に伴う機器やシステムの充実・議会を補佐するような新たな制度の導入・政務活動費の増額・委員長手当復活など、様々な費用が見込まれる事態が想定されますので、議員報酬総額が減少する事態になっても、議会費の総額が減ることの無いよう、当委員会の総まとめとして強く要望いたします。

令和3年12月24日

議会活性化検討委員会  
委員長 長岡 景介